



働きぶり
54歳

日野市議会議員

西野まさひと

活動報告 NO.35



ハッキリ言います! 市政にひとこと!

【ホームページもみてね!】 <http://www.nishino1.com/>

■ 西野まさひと友の会では、平成26年3月議会での西野正人議員の一般質問の内容をはじめ日野市の新年度の事業・予算について報告します。

発送によるがん健診受診率の向上に約7700万円、歩いて健康増進をはかる事業に約640万円、そして公園内に健康器具設置予算も200万円計上されました。今後、市民の皆様にも有効活用して頂くよう運営施策の展開も期待したいと思えます。

健康長寿

また、健康長寿社会実現については、ヘルスケア・ウェルネス戦略とし、がん健診等事業経費として無料クーポン券、勸奨奨通知

防災対策

まず防災面では、長年懸案となっていた三沢地区の梅が丘団地特殊地下壕の防災対策に対して、特殊地下壕対策工事監理業務委託、特殊地下壕対策工事費として計4750万円が計上されました。しかし、残念ながら例年とあまり変わらぬ予算であり今後、窓口である東京都と国に対して、古賀都議会議員・小田原衆議院議員と共に一層の働きかけを行いたいと思えます。このままでのペースでは完了まで百年かかかってしまいます。



P2 平成26年度予算概要
P3 自民党会派代表質問
P4 一般質問(雪害対策)

も、早速着手され、予算化や実現したのもあります。それらの内容についてご報告いたします。

平成26年度は大坪市長となって初めての予算編成となります。大坪市長が推進する3つの戦略「人口ハランス・定住化戦略」・「産業立地強化・雇用確保戦略」・「ヘルスケア・ウェルネス戦略」は、基本的には個人の政治施策と一致するものです。先般の市議会議員選挙で私が公約に掲げた事業

選挙公約実現へ大きく前進—平成26年度に予算化

日野市の産業育成・成長戦略の一環であり、中小企業支援策として融資あっせん制度を、近隣他市と比較しても十分対抗できる基準まで引上げるべきだと提言してきましたが、平成26年4月から大きく改善されることになりました。今後はこの事を広く周知し、市の内外からの活用拡大に努めて頂きたいと思えます。

中小企業 融資あっせん制度を改善

融資限度額の増額!



	改善前	改善後
融資限度額	返済期間	返済期間
運転資金 1,000万円	60ヶ月	2,500万円 最大 84ヶ月
設備資金 1,500万円	84ヶ月	3,000万円 最大 120ヶ月
併用資金 1,800万円	84ヶ月	3,500万円 最大 84ヶ月

開業資金がさらに利用しやすく

	改善前	改善後
融資対象	個人	個人、法人
設備資金	27歳以上	20歳以上
申込期間	開業前後6ヶ月以内	事業を開始しようとするものまたは、事業開始後1年以内
融資限度額	1,000万円(所用2/3)	1,000万円
返済期間	84ヶ月(据置なし)	84ヶ月(据置12ヶ月)
保証人		個人:原則不要 法人:代表者
保証	連帯保証	保証協会の保証
担保	不動産担保	原則なし
連帯保証人	必要	原則なし

日野市の産業基盤強化の重要な要素の一つとして、以前から幹線道路網の整備促進をうたえて参りました。圏央道の順次開通などで物流の変革がおきているからです。日野市でも近隣他市に遅れをとることのないよう、3・3・2号線(20号バイパス延伸部)、3・4・24号線(旭が丘〜西平山への南北道)の整備が不可欠です。市は整備促進の重要性を認識し、今年度の予算でも事業化し積極的に取り組むこととなりました。

■ 3・3・2号線(20号バイパス延伸部)の未事業化区間の着手を国に要請

■ 3・4・24号線(旭が丘〜西平山への南北幹線道路)事業認可へ向け協議、今年度は認可設計と用地測量に予算化(約1,209万円)

成長戦略



今年の予算は、大坪市長として初めての予算編成であり、自らの市政運営の指針を示して臨んでいます。市政のビジョンを打ち出し、それを実現するための3つの柱と3つの戦略を示しましたので紹介します。

これからの市政のビジョン
人とまちの諸力融合が「可能性に
満ちた未来」を拓く

3つの柱
市政を進めて行く上での基本姿勢

- 1 住み慣れた地域で生き、看取られる、暮らし・福祉・医療の展開
- 2 日野市の良さである恵まれた社会的・自然的資源を生かし、地域の個性を伸ばすまちづくりの推進
- 3 厳しい財政状況を踏まえた経営戦略に基づく市政の運営

3つの戦略
戦略相互の関係や効果を意識

- 1 地域の魅力を向上させ、様々な世代がバランスよく住まい交流する
 - 2 産業の活性化と合わせ、新たな産業を創造することで地域の雇用を創出し職住近接の都市環境を実現する
 - 3 全ての世代が、より長く生きるため、自らの健康維持に取り組みながら、必要な時に適切なケアが受けられるまちづくりを目指す健康維持アクション
- ↓ヘルスケア・ウェルネス戦略

平成26年度 日野市予算と主な事業(抜粋)

- 自治会インセンティブ補助金の交付
- 産学官金連携の一層の推進
- 広報ひのの充実(A4判化、増ページ、全戸配布、広報アドバイザーの配置)
- 政策的な土地活用の推進
- 公共施設の対進化(本庁舎の耐震補強実施計画、川原付団地市営住宅耐震化工事実施)
- 発達・教育支援センターの開設
- データヘルスによる疾病予防の取組(診療報酬明細書の分析による健康増進)
- 河川遊歩道等への健康標識設置
- 地区広場等への健康器具設置
- スポーツ推進計画の策定
- ごみ処理広域化施設の一部事務組合設立準備
- 七ツ塚公園の整備～農と緑を活かした健康づくり～
- 都市計画道路3・3・2号線の整備促進
- 都市計画道路3・4・24号線の整備促進
- 工業みえる化プロジェクトによる「ものづくりのまち日野」の発展
- 中小企業事業資金融資斡旋制度の拡充

一般会計歳出552.7億円

款区分	平成26年度当初	増減率%
議会費	4億2464万円	-2.9
総務費	47億6853万円	-8.9
民生費	274億8368万円	2.1
衛生費	52億1924万円	12.3
労働費	6202万円	1.9
農業費	9883万円	-19.1
商工費	3億3925万円	7.4
土木費	50億2839万円	10.4
消防費	24億8947万円	16.7
教育費	60億2215万円	8.9
公債費	31億7375万円	-6.8
諸支出費	1億3000万円	-13.3
予備費	3000万円	-90.0

特別会計517.4億円

会計名	平成26年度当初	増減率%
国民健康保険	177億7622万円	2.3
土地区画整理事業	39億3591万円	25.6
下水道事業	49億9544万円	-1.5
介護保険	117億8032万円	8.7
後期高齢者医療	34億9244万円	4.1
病院事業	97億6704万円	11.8

一般会計歳入552.7億円

款区分	平成26年度当初	増減率%
市税	283億9641万円	1.2
地方譲与税	2億8700万円	-14.1
利子割交付金	1億8500万円	19.4
配当割交付金	1億9400万円	128.2
株式等譲渡所得割交付金	1億5900万円	783.3
地方消費税交付金	22億9400万円	27.4
自動車取得税交付金	9200万円	-46.5
地方特例交付金	1億4000万円	3.7
地方交付税	8億8000万円	20.5
交通安全対策特別交付金	2300万円	9.5
分担金及び負担金	6億4102万円	1.2
使用料及び手数料	12億312万円	-3.0
国庫支出金	79億5394万円	7.8
都支出金	70億3906万円	0.4
財産収入	2923万円	-11.9
寄附金	1000万円	0.0
繰入金	15億8136万円	-33.9
繰越金	3億0000万円	0.0
諸収入	6億6873万円	11.7
市債	31億9310万円	18.3



この定例会から私が会派の代表を務めることとなり、代表質問をいたしました。市長与党ではありませんが、市民生活向上のために、ハッキリと意見と提言を行う姿勢で、厳しい代表質問となりました。

議会と行政の基本的な関係について

大坪市長は市政のビジョンとして、人とまちの諸力融合をうたっていますが、失礼ながら、議会・市民・企業・諸団体を融合できる能力を持った職員が何人いるでしょうか。市長自身も役所出身で就任2年目ということ、人脈や信頼関係を築けていないかと思えます。また、日野市の将来を担う職員の能力向上に如何に取り組みかをお聞きします。

市長答弁

●職員が市の果たすべき将来目標を共有し、高いモチベーションを保って、チームとして市民・諸団体とともに取り組むように努める。今年度からその端緒として一部を予算計上した。

政策的な土地活用の推進による財源確保について

これまで市有地の有効活用をうたえて参りましたが、2度にわたる市立病院跡地の活用事業の頓挫を、逆にチャンスととらえ、将来に向けて大きな事業展開への資産として、今は確保しておくべきと考えます。時の流れをいち早く感じ施策の展開を行って行く必要があるかと思いますが、市長の所見を求めます。

大坪市長答弁

●市立病院跡地と万願寺地区内の浅川公会堂予定地については、事業用定期借地権を設定し持続的な財源確保ができるよう、新たな事業者の公募にむけ全庁をあげて取り組む。多摩平下水処理場跡地に対しては今年度の早い時期に土地売却の手続きを開始する。

日野人・日野文化を育てるまちについて

大坪市長は「日野人・日野文化を育てるまち」として、生涯学習社会の構築をうたっています。人を育てるその先は何を目指すのか、また、来る東京オリンピックに向け地域活性化についてたずねました。

大坪市長答弁

●人づくりが街づくりの礎となるとの考えから生涯学習社会を目指す。現在のところその先の将来像については具体的には無い。オリンピックに関しては単なるスポーツイベントとしてだけでなく日野市の活性化につながる。舛添知事の「三多摩にキャンプを」などのチャンスを先取りし活用する仕組みを作る。

ごみ処理広域化推進について

先般の市議選では、広域化推進をハッキリ訴えて当選した議員は一人、反対を訴え落選した候補は2名当選は4名でした。この結果をどう受け止めるか問いました。

大坪市長答弁

●この結果は心の中に深刻に受け止めるが、ごみ処理広域化の決断は揺らがず、周辺環境整備に着手する。地元協議会を立ち上げ意見を反映させる仕組みづくりに努力する。

大規模工場跡地の活用について

民間の土地活用は、当然市が自由にできません。市内のある団体は住工混在の作業環境の解決や、事業用地確保にむけアンケートを取るなど活動しています。市は跡地活用にごどのように取り組むのか問いました。

市長答弁

●民間の土地を市が自由にできないが、企業も社会的責任を果たそうとしており、市と話し合う機会を望んでいる。今後は企業との顔の見える関係構築に心がけ、お願いしていく。

住宅MP改訂による魅力的な住環境の形成について

現在日野市は、実践女子短大の移転等の影響もあり、アパート等の空室が増加しています。新たにマンション建設等がなされるとこの問題も拍車がかかります。「魅力的な住環境の形成」をどうするのか問いました。

大坪市長答弁

●自治体は住宅供給量の確保からストックの質の向上にシフトしている。日野市に心地よく住み続けて頂くために、3世代同居や近居、地域コミュニティの促進を心がけ、空家の有効活用などに取り組む。

産業活性化による日野の魅力向上について

今回の中小企業事業資金融資制度の大幅な拡充は、産業育成への攻めの戦略として、日野市で新たな産業を起す礎となると思います。しかし、この制度を市内外の多くの方に知って頂かなければ、新たな展開は望めません。制度周知への取り組みを問いました。

大坪市長答弁

●改編する公報の積極活用とあわせ、情報戦略を充実させ周知に努める。
●多摩平の森N街区を中小企業インキュベーションの拠点とし、新たな産業の創出に努めます。

質問
1-1

積雪対応と対策について問う

関係部署の連携について

南岸低気圧の通過に伴う、2月8日、14日の記録的な大雪の除雪作業への対応を質問しました。

質問
1-1

積雪対応と対策について問う

除雪の問題点と対策について

今回の大雪で、様々な課題が見えたと思います。市が認識している問題点と対策を質問しました。

質問
1-1

積雪対応と対策について問う

市内産業に与えた影響について

今回の大雪が市内産業に与えた農業・商工業・建設業等への影響と支援策について質問しました。

総務部長答弁

●通常の積雪は道路課直営作業班を中心に行っているが、対応しきれず市内建設業者に依頼した。8日の大雪では3社、14日は5社に依頼した。また除雪は、優先順位をつけて公共性の高い幹線道路から行ったが、14日の大雪では生活道路の細部まで手がまわらなかった。



業者としての除雪経験から今回の大雪は委託契約業者だけでは対応できないと思います。

質問
1-1

積雪対応と対策について問う

災害対策協力会との連携について

日野市には「日野市災害対策協力会」があります。が、除雪の依頼を行ったのか質問しました。

総務部長答弁

●今回のような大雪は、行政の力のみでは対応しきれず、市民のご協力が不可欠である。特に生活道路は、近隣住民に除雪を行って頂いているが、高齢者や健康状態により除雪がままならない場合もある。

●市内の事業者へ除雪の依頼を行う場合でも、重機を所有しオペレーターを抱える事業者が少ない。市が除雪に使用できるホイールローダーは1台であったが、今回を教訓にし、クリーンセンター場内で使用していたものを一般道でも使用可能にした。

総務部長答弁

●日野市災害対策協力会は市内約70の事業者からなり、災害時にし資機材の提供や人的支援を行うボランティア団体だが、今回は支援要請をせず、同協会の土木部会の業者に直接除雪の依頼をした。



協力会立ち上げ時の一人として、なぜ協力依頼をしなかったのか疑問です。こういう災害時こそ、専門的技術を持つ人の協力が欠かせません。

●市職員のなかでも現業職が減少し、除雪の現場経験者も少なくなっています。それにより、職員幹部が大雪へどう対処すべきか、判断が甘くなったと言えます。

●馬場市政時代に経費削減を継続し続け、除雪に対しても消極的になっていったのではないのでしょうか。こういう時こそ財政調整基金を使用するなどして迅速に対応すべきと提言しました。

●今回のような大雪の場合、市と市民の自助・公助の連携が欠かせません。異常気象が続く昨今、大雪も災害対策の一つとして捉え、対処についての広報活動も重要です。今回の除雪では、車道へかき出した雪が凍結し道路が寸断されたり、雨水樹への雪の積み上げが円滑な排水を妨げるなどの問題がありました。



大坪市政の素早い対応を評価!

日野市議会

大坪市政

自・民・公
三党派で
要望 3/5

雪害
被災農家
支援

農業費
1千万円
追加 3/31

平成26年度一般会計補正予算にて

- 農業用ハウス・棚等の撤去・処分費用への支援
- 再建・修繕は農業災害関連資金の利子補給等の支援を検討
- 撤去作業への人的支援が必要な場合は「NPO法人日野人・援農の会」へ協力要請を行う

まちづくり部長答弁

●市内の農業用施設への被害は、パイプハウスの全半壊が多く、甚大な被災者は26名、33棟で被害総額は1億円を上回る見込みである。

●商業関連では物流が滞り、全体的に商品が品薄になった。工業関連では、一部の施設で電気設備に若干の損傷があったこと、流通機能のマヒにより納期の遅れなどが生じた。建設業関連では工期の送れと資材流通の停滞等の影響があった。

●甚大な被害を受けた農業支援に向け農水省でも緊急支援策を打ち出したが、日野市でも自民党・民主市民ネットワーク・公明党の3党派から「雪害対策・緊急支援を求める要望書」を頂き、独自の支援策を実施することとなった。